

2. 7 科学（者）と英語 ―斬れる英語を目指して―（英語分野）

(1) 研究開発の課題（研究概要）

科学の進歩がめざましく、グローバル化が進む現代社会において、世界共通語としての英語と科学の関係はより密接になってくることが予想される。このような状況下で英語を学習する生徒に、本演題で講演を実施した。

(2) 研究開発の経緯

事前に講演に関する課題が講師の先生から設定され、テーマに関する考えを深めてから講義を受けた。講演後には質疑応答を行い、活発な意見交換をした。

(3) 研究開発の内容

ア 仮説（ねらい、目標）

本事業は英語コミュニケーション力や外国文化への興味・関心などの「国際性」を促すことが出来る。

イ 研究の内容・方法

該当教科 SSH英語発展

対象生徒 普通科2、3年生徒 16学級

日時場所 7月14日(月) 一宮市民会館大ホール

実施内容

講演

演題 「科学（者）と英語 ―斬れる英語を目指して―」

講師 名古屋大学 理学部長 篠原 久典 先生

内容 「グローバル言語」という概念

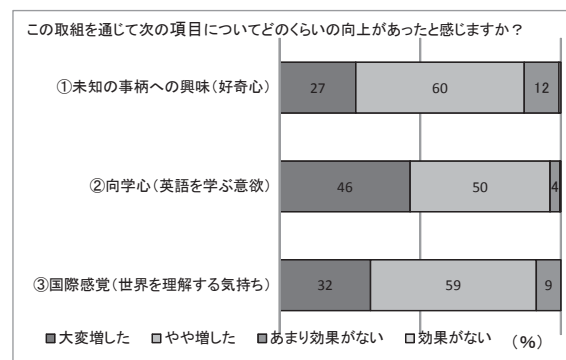
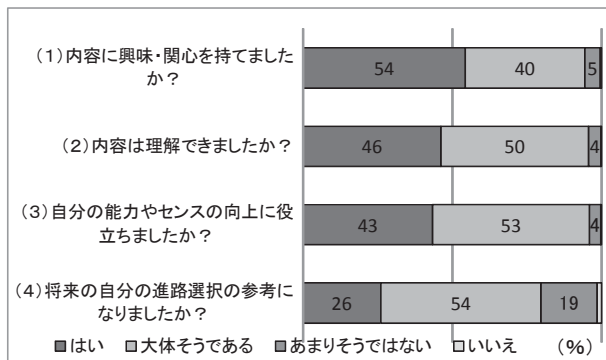
「斬れる英語」とは

英語の学習法（只管朗読）



講演会の様子

ウ 検証（成果と反省）



生徒の感想から

- ・英語に対する興味が増した。
- ・大学での研究に集中するためにも、英語を勉強することは大切だと思った。
- ・講演をきいて、このままの英語力じゃいけないと思った。

実際に大学で研究に携わっている講師からの、英語の実情についての話に生徒は大きな関心を示していたようである。また、将来を見据えた英語学習の動機づけとしての印象を生徒に与えることができた。